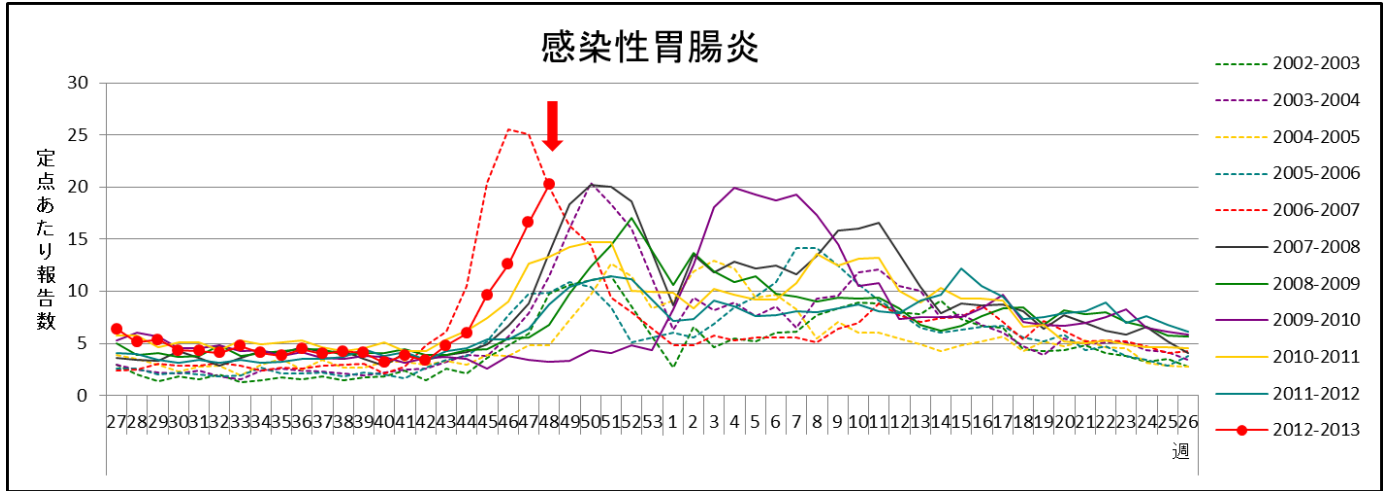


感染性胃腸炎情報 2012 年 第 48 週 (11 月 26 日 ~ 12 月 2 日)

- 岡山県内の患者報告数は 1,094 名 (定点あたり 20.26 人) で、患者はさらに増加しました。(54 定点医療機関報告)
- 岡山県全体、岡山市、倉敷市、備前地域は、発生レベル3 になりました。

【第 49 週 速報】

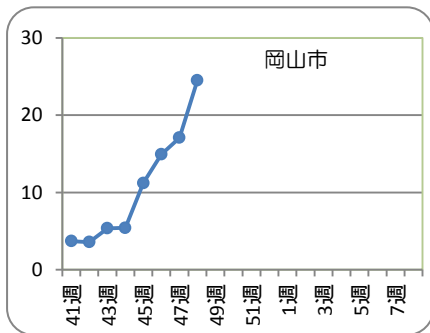
- 玉野市の小学校 1 校、津山市の幼稚園 1 園で感染性胃腸炎による学年閉鎖がありました。(12 月 5 日)



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

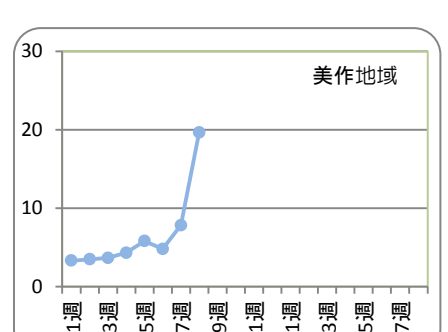
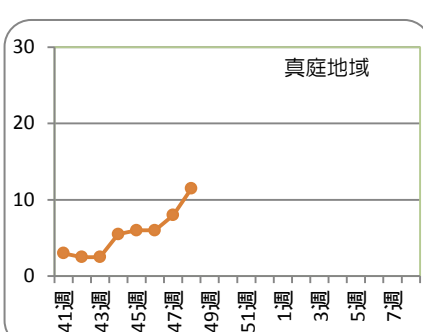
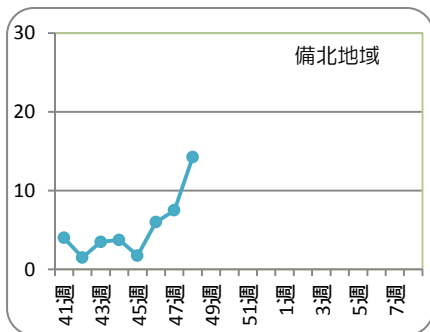
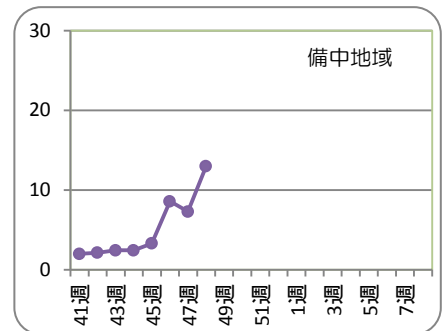
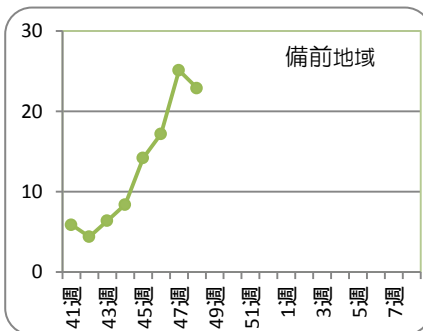
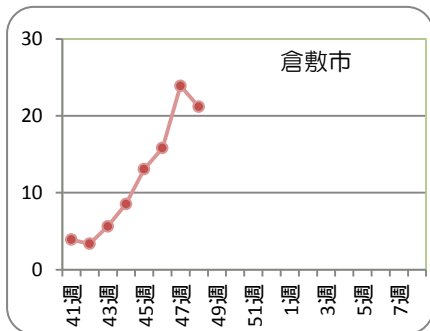
感染性胃腸炎は、患者数がさらに増加しました (定点あたり 16.61 → 20.26 人)。全県での定点あたり患者数が 20.00 人を越え、大きな流行が発生したと思われる発生レベル 3 になりました。定点あたり患者数が 20.00 人を越えたのは 2007 年第 51 週 (20.06 人) 以来のことです。

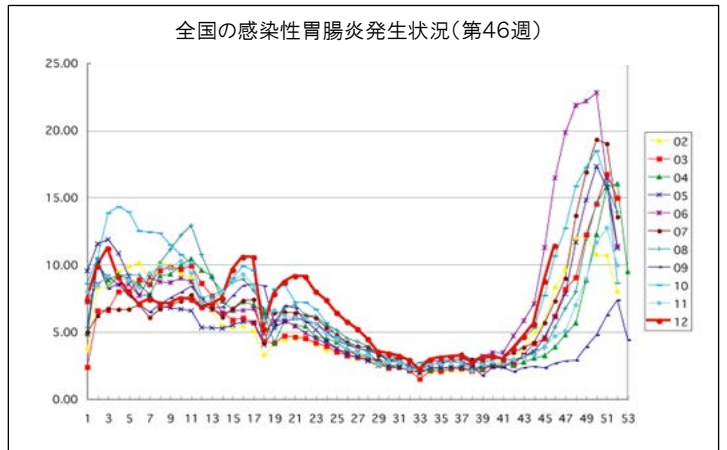
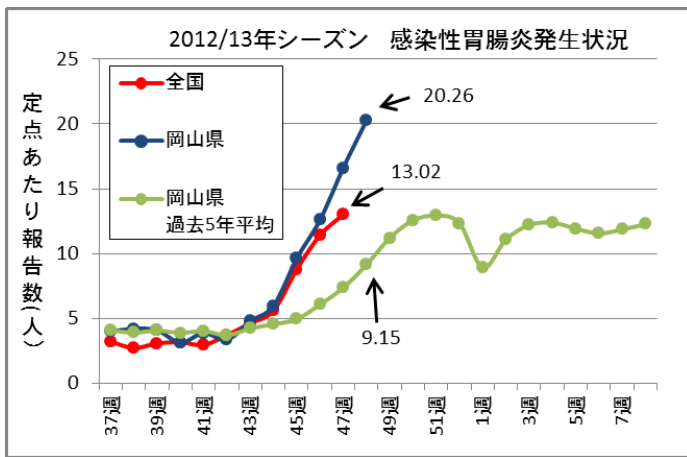
◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、多くの地域で患者が増加し、倉敷市 (23.91 → 21.18 人)、備前地域 (25.10 → 22.90 人) に加え、今週は岡山市 (17.07 → 24.50 人) も発生レベル3 になりました。また、これまで県南を中心に患者増加が見られましたが、美作地域 (7.83 → 19.67 人) でも患者が急増しており、県全域で流行の拡大が見られます。

年齢別では、1 歳以下の乳幼児が 22% で最も多く、5 歳以上の幼児で 54% を占めています。また 20 歳以上の成人も前週の 13% から 16% に増加しています。





(国立感染症研究所HPより)

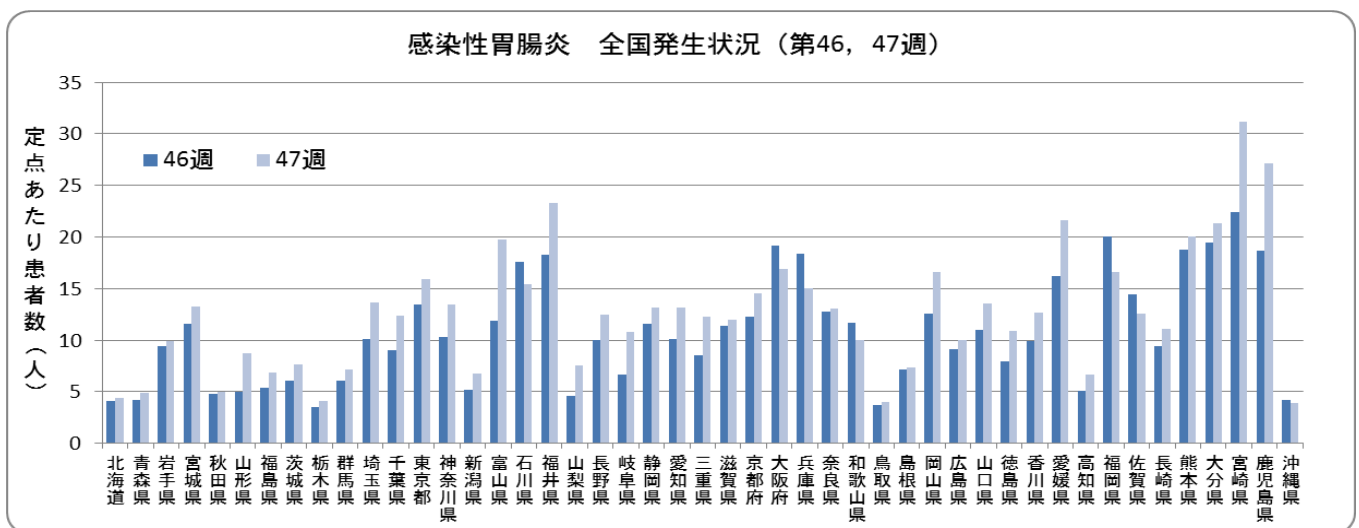
今シーズンは、例年に比べ流行開始の時期が早く、患者数も多くなっており、全国的にも同様の傾向です。学校や福祉施設、病院では集団感染も懸念され、第49週には学校の集団感染も報告されています。感染予防と、拡大防止に努めて下さい。

この時期の感染性胃腸炎の主な原因であるノロウイルスの感染予防は、流水・石けんによる手洗いの励行と、吐物や下痢便の適切な処理を行うことが極めて重要です。排便後や、調理・食事の前には手洗いを励行し、吐物や下痢便を処理するときは、処理する人自身が感染しないよう気をつけましょう。消毒には85℃で1分以上熱湯消毒するか、塩素系消毒液が有効です。アルコールは消毒効果が低いとされています。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすことがありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[○ノロウイルスに関するQ&Aについて\(厚生労働省\)](#)

[○注意！この冬はノロウイルスに注意しましょう。\(厚生労働省\)](#)

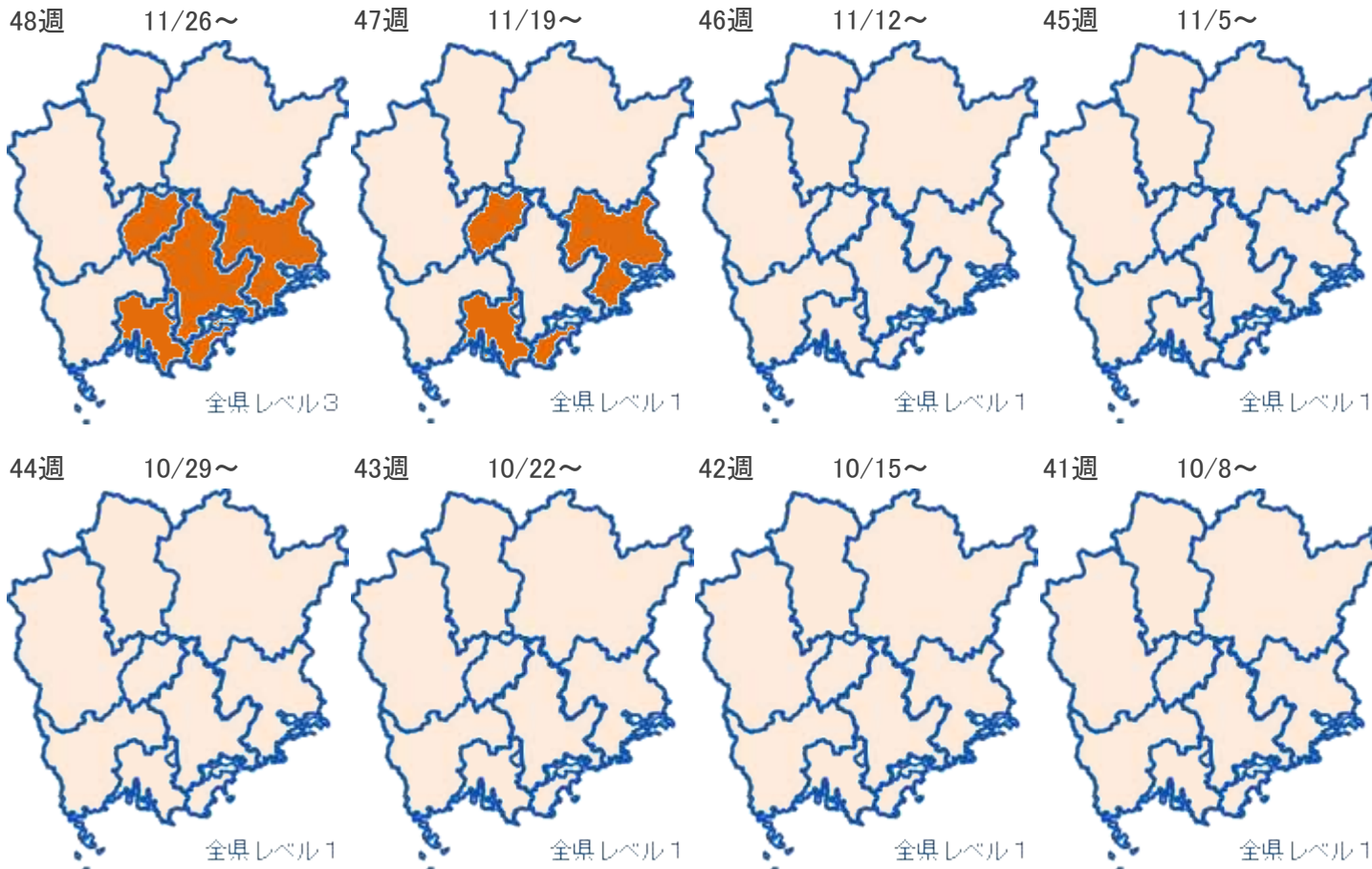




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2012年 48週

2012年12月5日

15:07:50



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。